

備前市事務事業評価表

事務事業名	補装具費給付事業	コード	02-01-03-25
		担当課・係	福祉事務所障害者福祉係
		担当者	田中淳一
事業実施期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日	電話	内線183
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)	障害者（児）福祉	

事業について	
目的 (何のために)	身体障害者の職業、その他日常生活の向上を図り、その福祉の推進に資する。
対象 (誰・何を対象に)	身体障害者手帳の所持者が補装具の給付が必要であると認められる者
内容	身体障害者福祉法の規定による補装具の給付。世帯全員の所得に応じて自己負担あり。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
補装具交付件数	433 件	173 件	
補装具修理件数	23 件	15 件	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	8,949	国庫補助金等	4,262	直接事業費	8,008	国庫補助金等	4,993
	人件費	1,944	委託費負担		人件費	1,800	委託費負担	
	合計	10,893	市債	6,631	合計	9,808	市債	4,815
		一般財源等				一般財源等		

必要人員	0.31 人	0.25 人	
結果指標名	補装具給付・修理件数	補装具給付・修理件数	
結果指標量	456	188	
単位	件	件	
対前年比	-	41.23%	0.00%
活動にかかるコスト	10,893,000 円	9,808,000 円	
単位当たりコスト	23,888 円	52,170 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	障害者の生活に必要な補装具の購入にあたり、購入費用の補助をすることで経済的負担を減らし、自立した生活を営めるよう支援する。		
成果指標名	補装具交付件数		
	式又は説明		
	17年度	18年度	
成果指標量	456	188	
対前年比	-	41.23%	0.00%
到達目標値		到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	法令に基づき実施されており、内容は妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	法律等で支給額及び事務処理手順は定められている。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量	結果指標量
	成果指標量	

総合評価	評価区分 <A~E> B
件数を見てもニーズは多く、有用な事業である。	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果